

「塗る筆」から「癒す筆」へ。世界初のオリジナルメソッドを取り入れた熊野筆新ブランド創出事業

【180762】

株式会社 晃祐堂
(広島県安芸郡熊野町)

広島県熊野町の伝統工芸品である熊野筆の生産・販売を実施。長年培った書道筆の技術で、化粧筆の分野に進出。国内だけでなく海外にも市場を拡大。
広島県内からの原材料仕入額は売上9億円に対して2億円となっており、売上増に伴い仕入額も増加するため、地域への経済的波及効果が期待できる。

ポテンシャル
(強み)

- 29年度 西日本地域 感性価値創造・ブランディング事業(ネットワーク)において、伝統工芸品である「いいモノ(熊野筆)」と感性価値を掛け合わせ、「暮らしにいいモノ」として商品開発を行い、約500万円の売上(見込)。
- ひろしま感性イノベーション協議会 会長・広島大学 農沢教授に商品開発の監修を依頼、感性を可視化するBEI技術により、熊野筆の「癒し」効果の実証実験が可能。
- 新分野への展開を積極的に進めており、H29年からは熊野筆を使って癒しの効果を与えるフェイシャルマッサージ「筆リンパ」開発者の小笠原氏と協働、専用の筆の開発実績がある。



取組内容

- 書道筆や化粧筆といった従来のニーズに留まらず、熊野筆の新たなニーズを発掘。筆の果たす役割を「塗る」ことから、「撫でる」ことによる「癒し」を与えるところまで広げ、熊野筆にこれまでの書道筆、画筆、化粧筆に加えて癒し筆という第4の新ブランドとしての商品を開発し、チャネル・販売先開拓の支援を行う。

①熊野筆の新ブランドの方向性決定

②プロダクトデザイン製作

③試作品製作

④モニター調査／実証実験

⑤プロトタイプ完成

地域への波及効果

原材料供給企業

専用機械の開発企業

事業実施体制

晃祐堂

熊野筆の商品開発・製造・販売

試作品のリサーチ
新規開発商品の販売

新規での
設備投資

協働

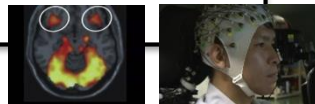
協働

upsetters architects
岡部氏

ブランドコンセプトづくりから
プロダクトデザインまでを担当

広島大学
農沢教授

感性を可視化するBEI技術による
開発商品の癒し効果の実証実験



FUDEマニフィック協会
小笠原氏

世界初・熊野筆を使ったオリジナルメソッド開発者の目線での商品開発アドバイス



国内マーケット

国内マーケット

・ボディケアマッサージなど
「癒し」を提供するサービス事業者

・美容に関心が高く自宅ケア
をしている消費者

■ 新規雇用の創出

■ 熊野筆業界全体のさらなる振興

凸版印刷 / Conoma

事業の全体統括・マネジメント